



NPO PTPL “ともいき” 便り No. 210

令和4年（2022年）6月21日発行

■夏至（げし） 6月21日から7月6日までの節気

みなさま、いかがお過ごしですか。二十四節気では6月21日から7月6日まで、「夏至」に入ります。6月21日は太陽がもっとも高くのぼり、昼が一番長く夜が短い日です。これから、どんどん暑くなっていきます。昼間に外を歩くときは、なるべく日陰を歩くようにしています。そんな中、クチナシの花の香りがふわっとしてきて、爽やかな気分になりました。ホタルが飛ぶ季節でもありますね。ホタルは曇っていて蒸し蒸しする夜に飛ぶそうですが、育つためにはきれいな水や空気が必要です。わたしが住んでいる町の駅前にも昔は柳の木と池があってホタルが飛んでいたそうです。夢のような話です。ホタルが育つ自然環境を作っていくことは私たちの暮らしを見直していくことにもつながっていくように思います。

6月30日は夏越しの祓えです。半年の穢れを落とし半年の無病息災を願いながら、茅の輪をくぐります。私は今年も浅草神社に行きます。ここには犬形があり、2年前に亡くなった柴犬まるの穢れも犬形に移して祓っていたものです。

ちなみに、今年は7月2日（土）の正午が、一年の折り返しの日だそうです。そして夏越しの祓えとセットで毎年いただくのが、「水無月」と名付けられた、ういろうに小豆をのせた三角形の和菓子です。小豆は赤色なので魔除けの力があり、白くて三角形のういろうは「氷」に見立てられています。暑気祓いの意味があると言われていました。昔は「氷」は大変貴重だったので、庶民には手が届きません。そこで考えたのが、この和菓子。なんて素晴らしい発想力、創造力でしょう。皆さんのお住まいの近くの和菓子屋さんにも、「水無月」と書かれた半紙が貼られていることと思います。

（「夏越しの祓え」についてはともいき暦6月30日をご覧ください。

<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2018/>）

新型コロナの感染数も徐々に減少していて、夏に旅行の計画を立てている方

もいらっしやると思います。7月6日（水）から8日（金）は、入谷の朝顔市です。江戸時代、入谷付近には朝顔が盛んに栽培されていました。今は朝顔作りの農家は千葉や埼玉などに散ってしまいましたが、台東区下谷、真源寺に立つ朝顔市は有名です。残念ながら今年も中止となりました。ただ朝顔の通信販売は行われるそうなので、公式ホームページをチェックしてみてください。

（ <https://www.asagao-maturi.com/>）

一方、浅草寺のほおずき市は開催されます。7月9日（土）から10日（日）。朝顔市とともに、夏の風物詩として下町の人に親しまれてきました。ほおずき市の由来は、「源頼朝が奥州征伐の帰り、浅草で軍勢を休ませ、日射病で倒れた兵士に、ほおずきの赤い実を食べさせて元気づけた」という言い伝えによります。（ともいき暦より <http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2022/>）ほおずきは色も形もかわいらしいですね。7月になると近くの花屋さんにも朝顔の鉢植えと一緒に並んで、季節を感じさせてくれます。

7月2日（土）は七十二候の「半夏生ず」です。カラスビシャクという「ほそぐみ」という漢方薬の原料になる植物が生える頃です。この頃は、梅雨の最中で湿度も高くとても蒸し暑くなり、カビが生えたり伝染病が流行りやすい季節。そこで、飲み水や食べ物に注意を促すことわざやタブーがうまれました。例えば「半夏生には天から毒の雨が降るから、井戸に蓋をしろ」「半夏生の水は妊産婦に飲ませてはいけない」田植の終期とされ、これ以降の田植は収穫がはなはだしく減少するから、「どんなことがあっても半夏生までに田植を終えなければならない」など。

（ともいき暦より <http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2022/>）

半夏生のころは農繁期を終えて一息いれるという意味で関西ではタコを食べる習慣があるそうです。「タコの足のようにしっかりと稲の根がはるよう」という意味があるとか。食べるものにもちゃんと筋の通った理由があるのですね。

このカラスビシャク、なんと、うちの犬の散歩コースにありました！うれしくなりました。

これから暑さに向かいますね。次回のともいき便りは立秋です。それまでに見られる満月は7月14日（木）。土用の丑の日は7月23日（土）です。

お月さま、見られるといいですね。そして7月7日（木）は七夕さま。星に願いをかけましょう。

みなさま、くれぐれもご自愛ください。

すとう あさえ (NPO PTPL 会員)

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。それは日本的なるもの「ジャパネスク」日本人の感覚、ジャパネスク。

ジャパネスクのホームページをご覧ください。

<http://www.japanesque.tokyo/>

日本 2021 ジャパネスク

「ともいき」、「ともうみ」、「ともさち」、そして「和」。

日本から世界へ、世界から日本へ。和魂世界才へ。

勝田 祥三 (NPOPTPL 理事長)

■事務局便り

北海道を除き、各地梅雨に入りました。しかし、この便りが届くころは沖縄地方では梅雨明けが予測されます。改めて日本は南北に長い列島だと感じます。やっと、新型コロナ感染者数も減少傾向になり、普段の生活にも活気が戻ってきています。

しかし、ウクライナでの戦闘、急激な円安、そしてこここのところの値上げラッシュにはホトホト参りますね。秋にはさらなる値上げラッシュが来るとメディアでは伝えられています。

コロナ問題も含め、世界はどこに向かっていくので行くのでしょうか？

コロナ前の状況が懐かしい感がある今日この頃です。

- 日本というものを基盤において活動する NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」：<http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」：<http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2022>

「ともいきチャンネル」[ともいきチャンネル - YouTube](#)

- 会員募集のご案内

NPO 活動（ジャパネスク運動）を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしく申し上げます。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

■ 電話：03-6432-5911 F A X：03-6432-5912 Email：info@ptpl.or.jp